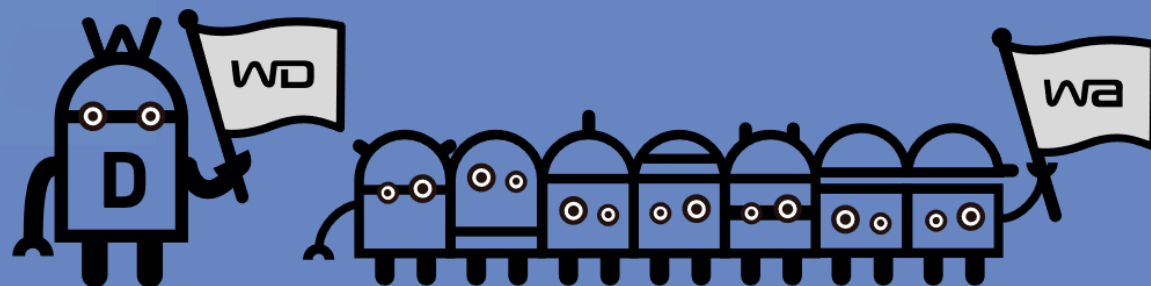


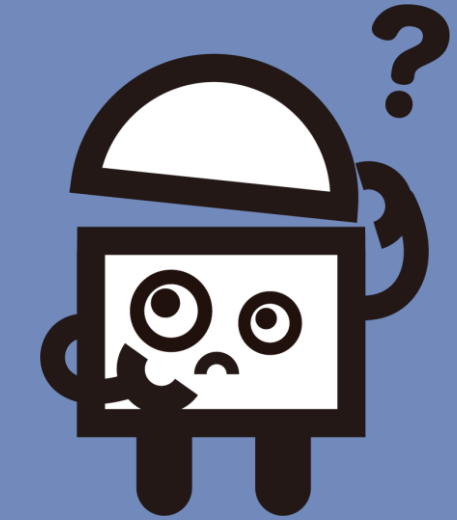
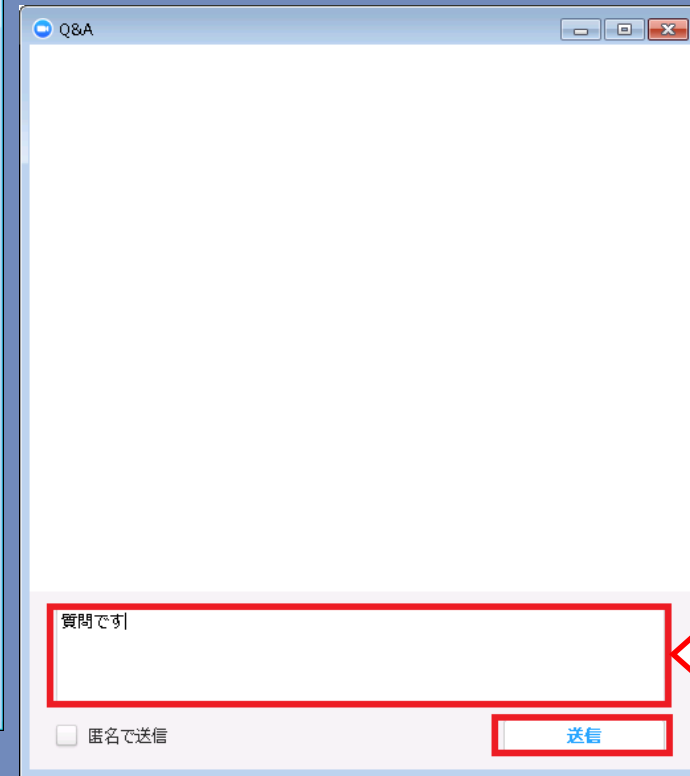
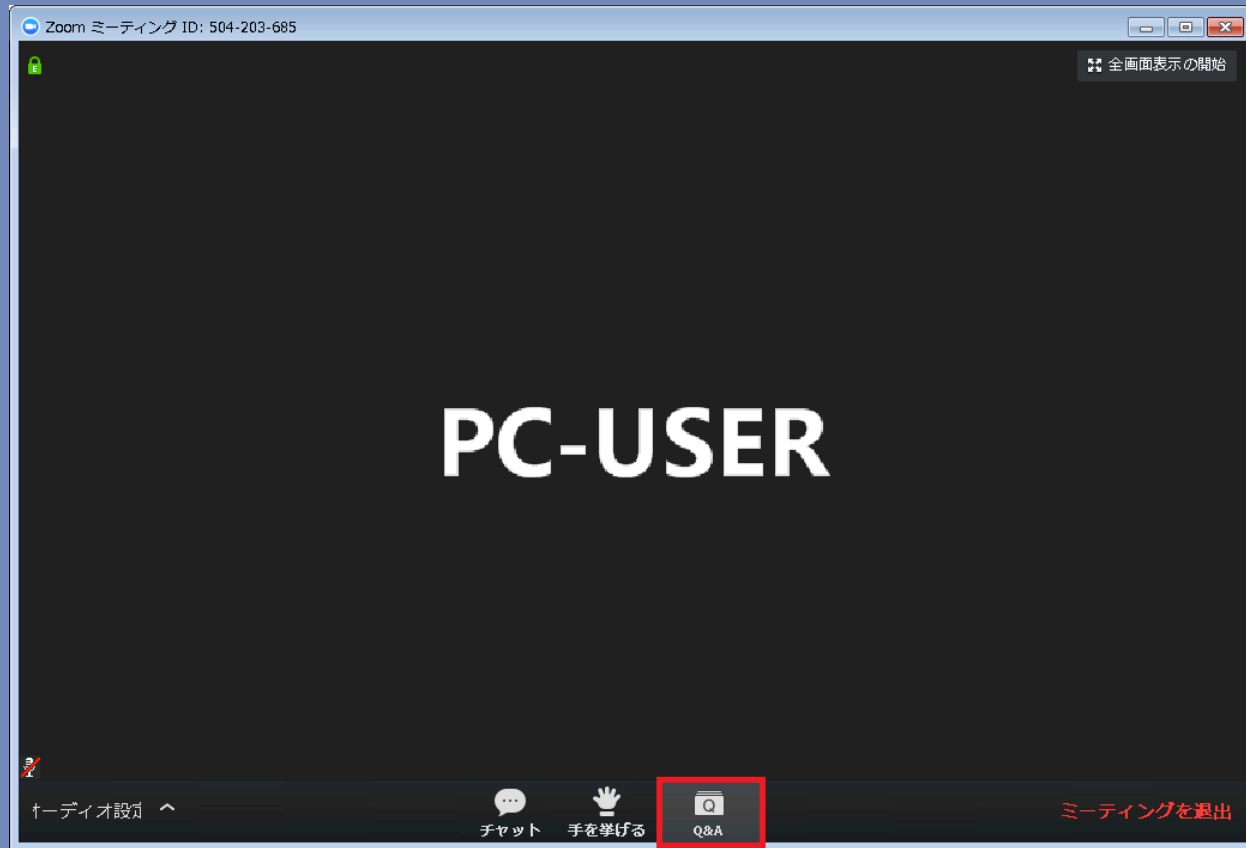
デジタルワーカーで 社会をデザインする

WinDirector初めて講座



2020年8月26日
株式会社NTTデータ
RPAソリューション担当

Q&Aを沢山ご活用ください！



質問を入力



今日のDATATubeはWinDirector特集です！

みなさん、以下の様なお悩みをお持ちではないでしょうか・・・？？？



WinActorを導入して業務は楽になっている。でもむやみやたらにロボが増えるのもシナリオが作成されるのも困る…。本当に費用対効果がでているのかわからない…！

リモート化の推進にともない、遠隔でもロボの実行状況を確認したい！



これらは実際に、我々がお客様からお聞きしたお声です。

この様なお悩みをお持ちの方、WinDirectorやRPAの管理統制機能という言葉は聞いたことがあるけれど実際どういうことができるのか聞いてみたい・見てみたい、という方、今日のDATATubeはそんな方に向けた回です！

管理統制面の比重を
重めに・・・！

WinActorユーザ様のお悩み事を アンケートでお聞きしました！

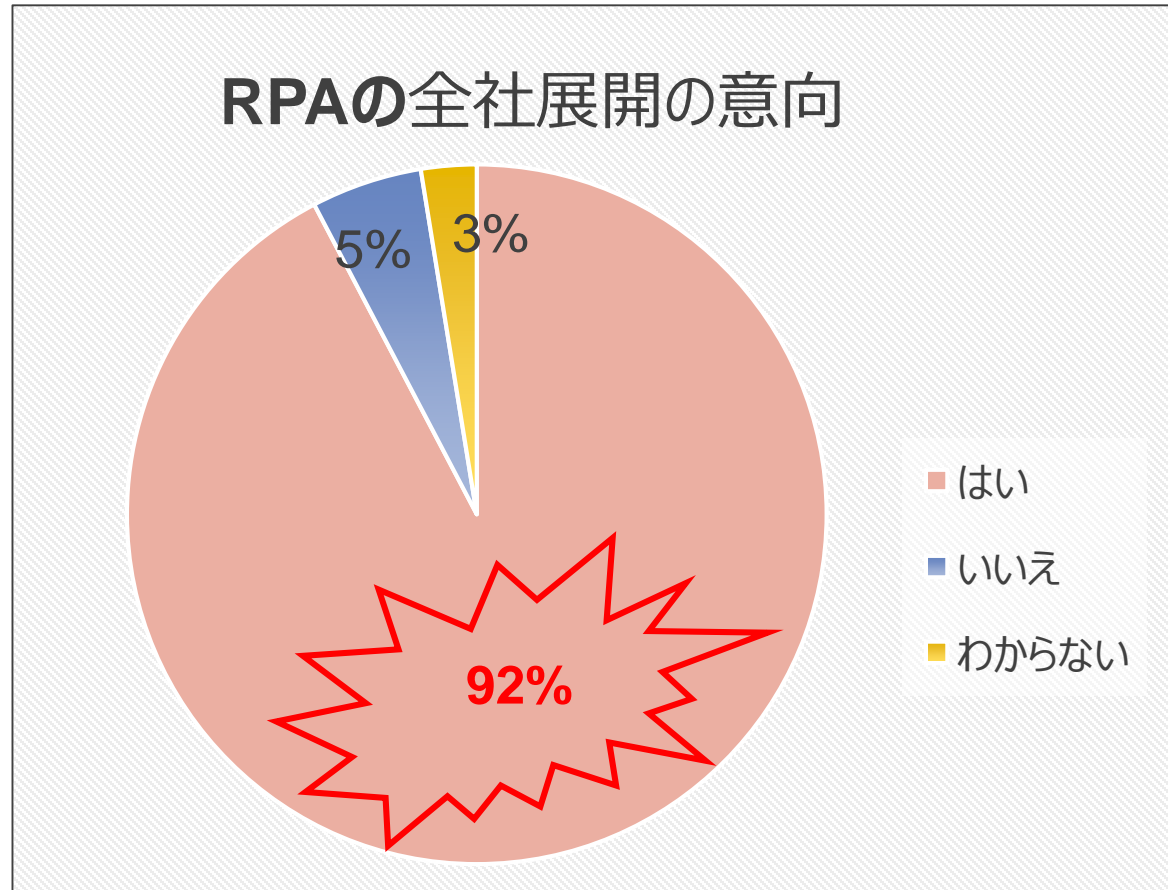
調査時期：2020/6/18～7/5
有効回答数：90件

回答者の方の構成

立場	人数（複数回答OK）	比率
推進者 （全社または組織のRPA活用の推進を行う）	40	24.4%
管理者 （社内のRPAを管理する、RPAの社内利用ルールを定める・運用する）	32	19.5%
シナリオ作成者 （RPAのシナリオを作成する）	68	41.5%
シナリオ実行者 （完成したシナリオの実行者（軽微な修正を行う場合含む））	24	14.6%

- 全ての立場を選択した方も12名存在。
- 42名の方が複数の立場を兼務。

調査時期：2020/6/18～7/5
有効回答数：90件



➤ 92%もの方が、全社展開を検討中。

第１位：シナリオの管理（シナリオの処理内容、作成者、作成日、バージョン等）が大変！（24%）

第２位：RPAの稼働状況の確認（シナリオの実行結果の確認）が大変！（20%）

第３位：RPA導入の費用対効果が見えにくい！（19%）

第４位：リリース管理(実行環境でのシナリオテストや作成したシナリオの社内ルール適合確認)が大変（15%）

第５位：構成管理（ライセンスバージョン管理等）が大変！（13%）

その他：監査対応が大変（6%）、困っていることはない（2%）

➤ 組織内展開の課題は山積！

➤ ウェビナーご参加の皆様はいかがでしょうか？

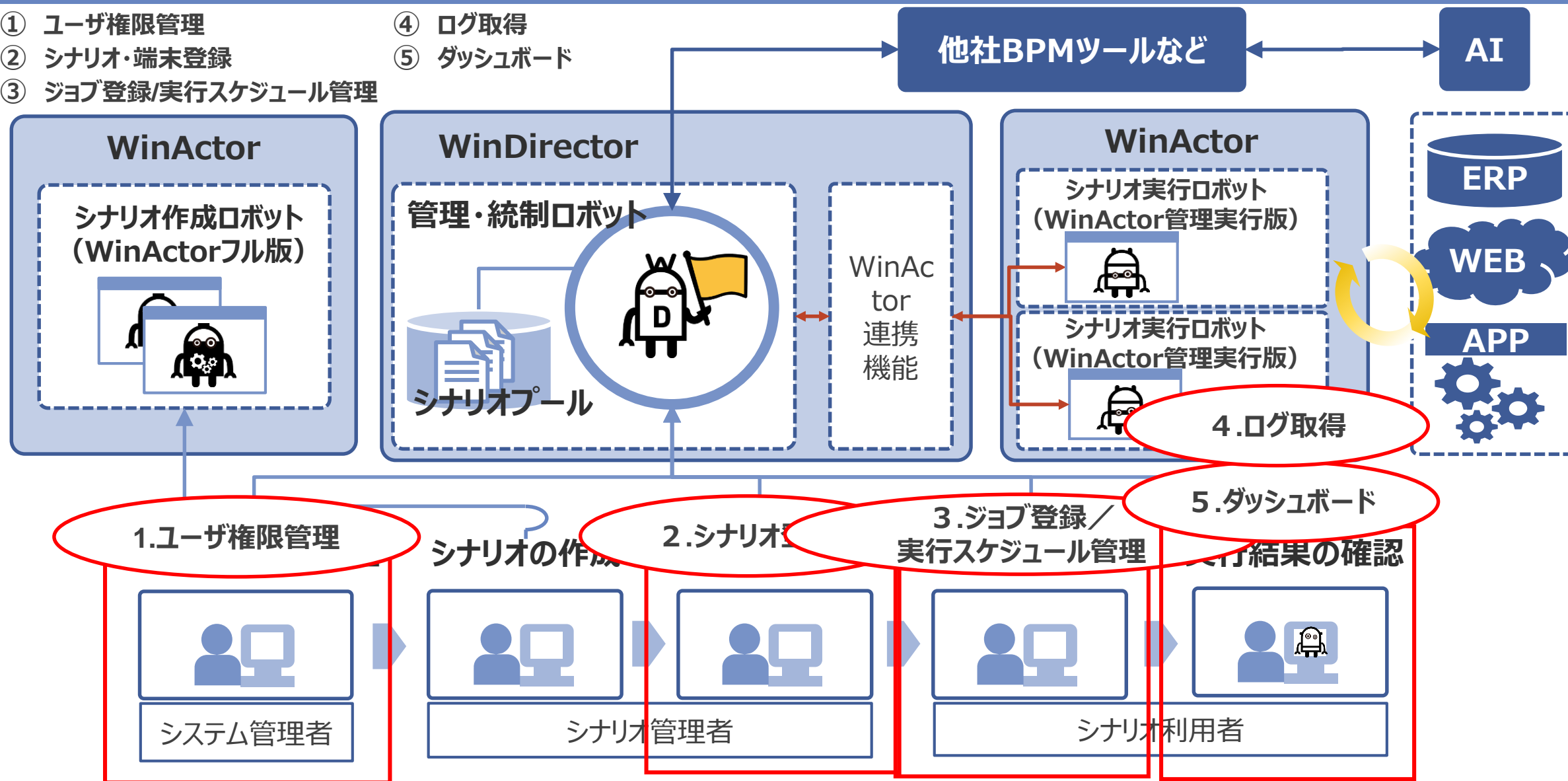


このようなお悩み、
WinDirectorが解決します！

「WinDirector®」の5大機能

- ① ユーザ権限管理
- ② シナリオ・端末登録
- ③ ジョブ登録/実行スケジュール管理

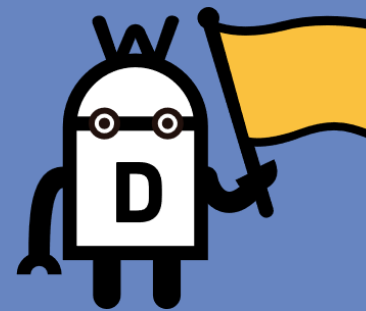
- ④ ログ取得
- ⑤ ダッシュボード



みなさんをお持ちのお悩みをWinDirectorが解決します！

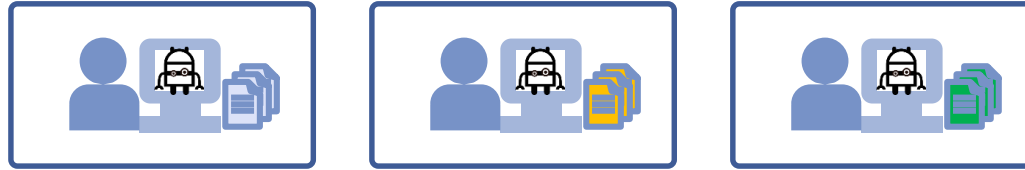
悩み	WinDirectorが持つ機能					導入後
	① ユーザー権限 管理	② シナリオ・端末 登録	③ ジョブ登録/ 実行スケジュール管理	④ ログ取得	⑤ ダッシュボード	
第1位：【シナリオ管理】 社内で作られたシナリオを有効活用できないかな・・・バージョン管理も・・・		✓				リビジョン含めシナリオを一元的に管理できるためシナリオの横展開も簡単に！
第2位：【RPAの稼働状況の管理】 どのシナリオが動いているのか どのロボットが動いているのか・・・	✓		✓	✓		組織体制に沿ったユーザーとロボット、シナリオへのアクセス管理が可能。さらに各種ログ取得も一元的に行うため確認可能！
第3位：【RPA導入の費用対効果】 WinActorを導入したはいいがちゃんと使われているのだろうか					✓	ダッシュボードより各WinActorの稼働状況やシナリオの実行実績が確認可能！
第4位：【リリース管理】 どのようなシナリオが実行環境に置かれているのだろうか・・・リリースされたシナリオはしっかり管理したい。	✓	✓				シナリオ承認機能（第三者チェック機能）、ユーザー権限制御により不適切なシナリオの適用や実行を防止！
第5位：【構成管理】 どのバージョンのWinActorがあってライセンス期限っていつまで？ どの端末だったかな・・・		✓				端末管理機能により各WinActorのライセンス状況を確認可能！

WD導入後の変化を見ていきましょう



WinDirector導入後の運用の変化

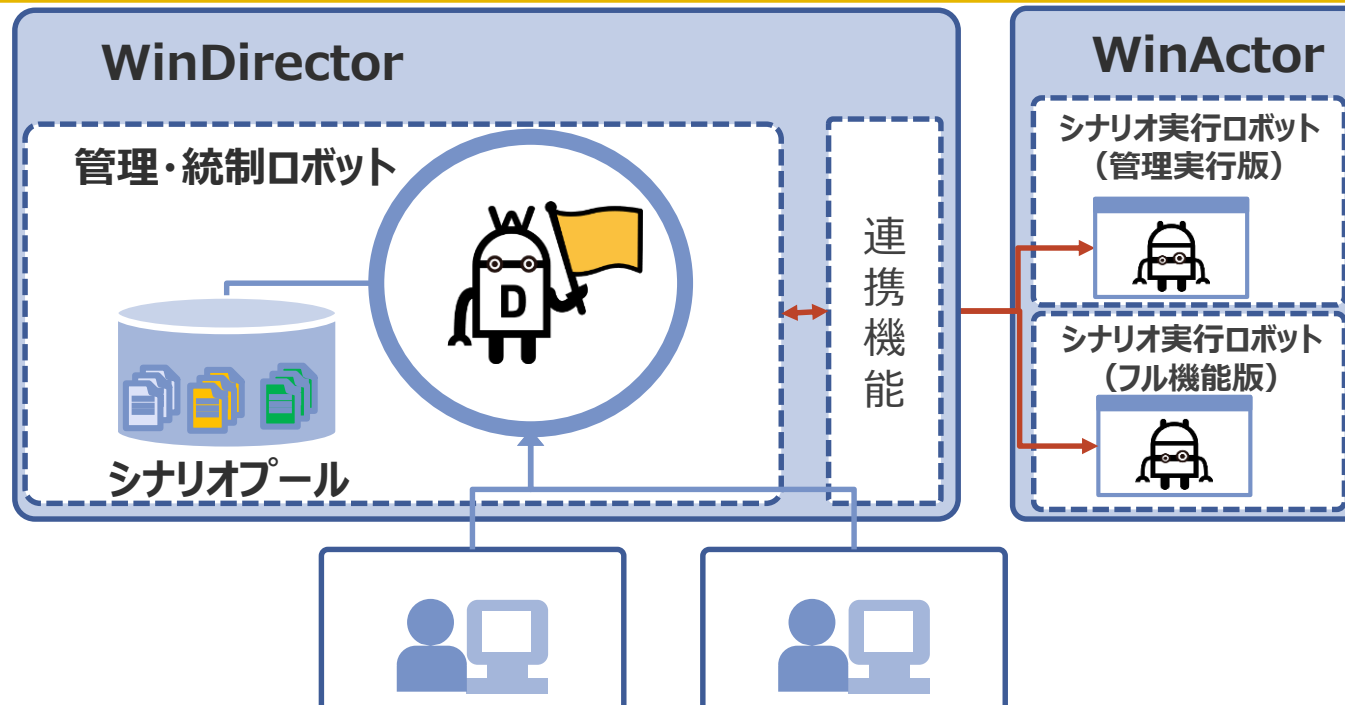
□ 導入前



＜ポイント＞

- ・各個人ごとの利用のため利用把握が難しい
- ・ライセンス、バージョン管理が大変
- ・シナリオは各個人で作成
- ・端末を占有する

□ 導入後

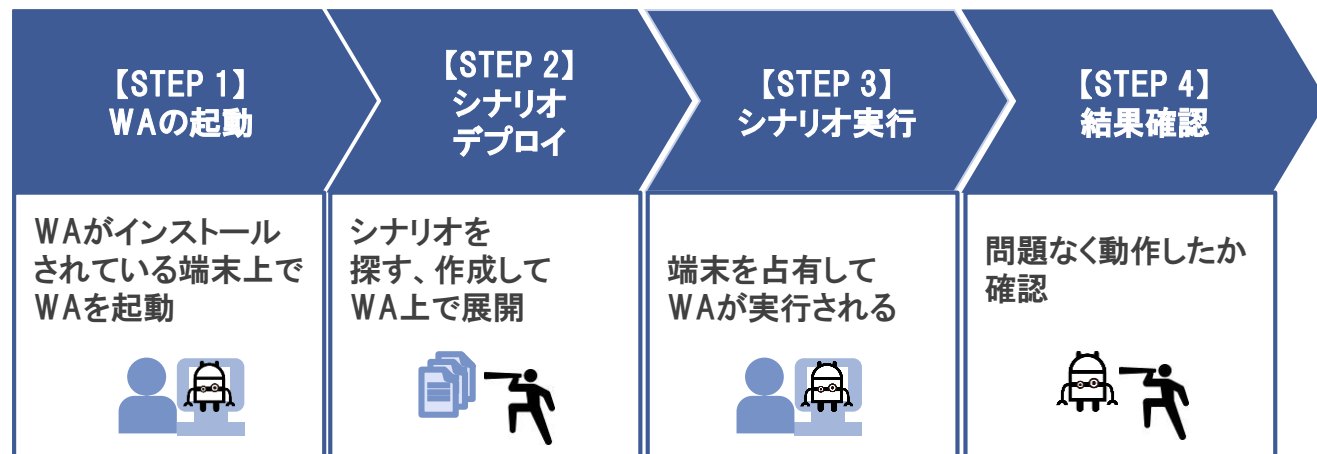


＜ポイント＞

- ・各WinActorの実行状況の一元管理
- ・ライセンス、起動している端末等の把握可能
- ・シナリオの管理、他部署の利用が容易
- ・利用するシナリオの制御が可能
- ・実行状況についてダッシュボードで確認可能
- ・ジョブが作成可能
- ・作成して実行までが遅い
(アップロードが必要)
- ・管理者が必要

WinDirector導入後のライフサイクル

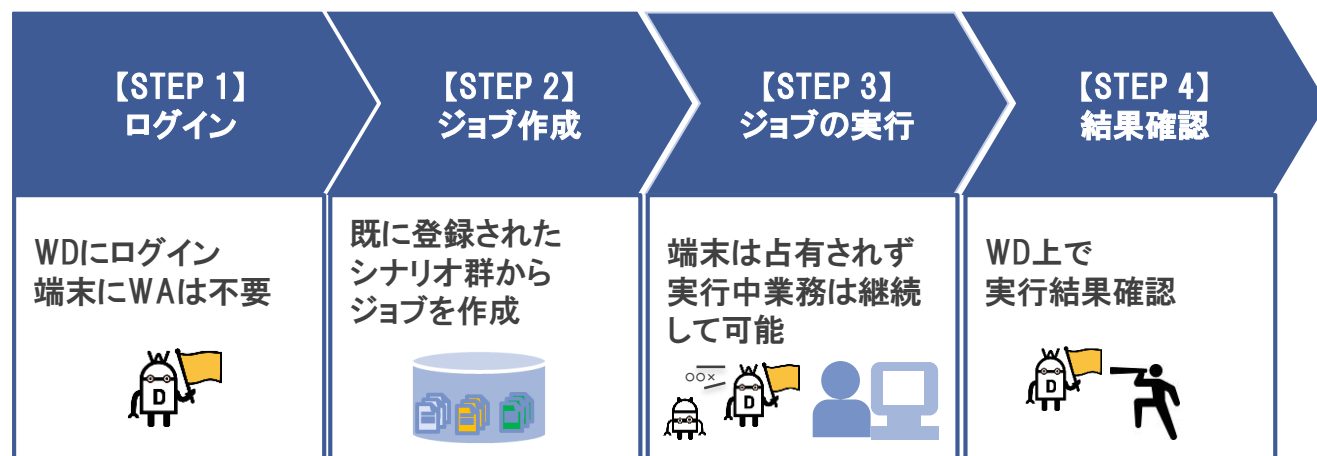
□ 導入前



<ポイント>

- ・WAがインストールされている端末のみ可能
- ・シナリオは探すもしくは作成しておく必要がある
- ・実行中端末は占有される
- ・ライフサイクルのログは集中管理されない

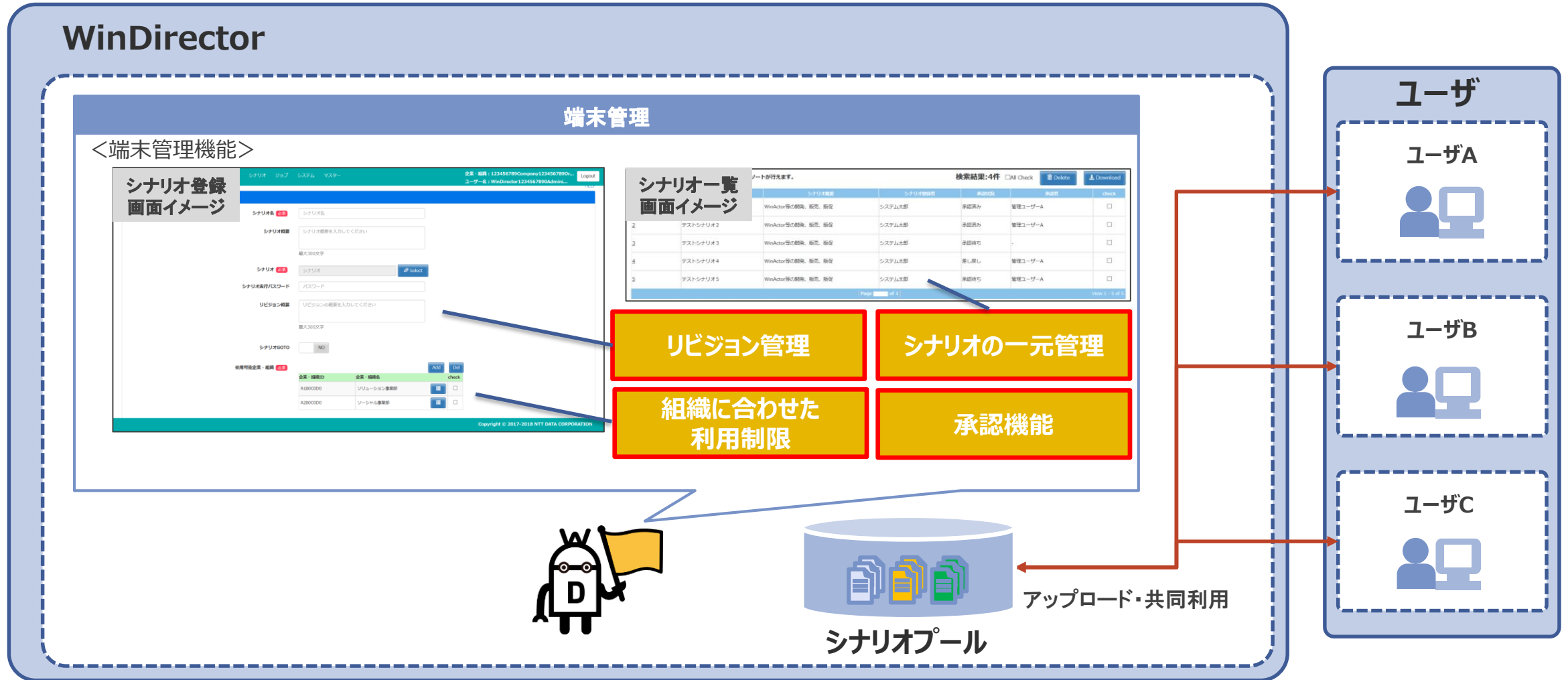
□ 導入後



<ポイント>

- ・WAがインストールされていない端末でも可能
- ・WDで管理されたシナリオ群を利用できる
- ・端末は占有されない。
- ・ライフサイクルのログはWD上で集中管理

導入後



導入後

WinDirector

ジョブ実行

<ダッシュボード機能>



<ロボットの状態確認>



手動実行

<簡易ログ出力機能>

WinDirectorの手動実行機能は、簡易ログ出力機能を提供しています。出力範囲、ロボットID、実行ロボアカウント、実行ロボグループ、イベントログなどの条件を設定して検索を行うことができます。

連携機能

WinActor

ジョブ実行

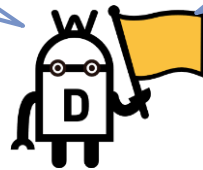


ジョブ実行



WinActor

手動実行



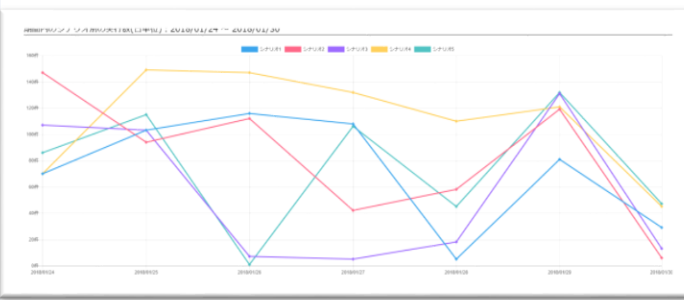
手動実行含めて
WAの稼働状況を確認！

□ 導入後

WinDirector

シナリオ

＜シナリオの利用回数の確認＞
シナリオ毎の利用回数から
業務量削減効果算出のヒントに

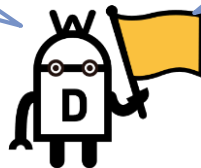


端末

＜端末の利用状況＞
空き端末の確認から
不要な端末、必要な端末の判断材料に



ジョブ、端末の状況から
稼働実績が確認可能



WinActor台数の最適化や
シナリオ導入効果分析の手助けに

連携機能

WinActor

ジョブ実行

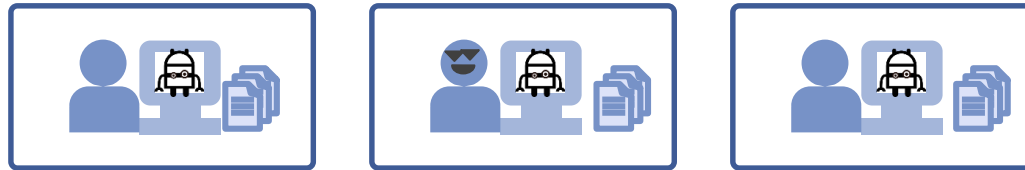


ジョブ実行



⋮

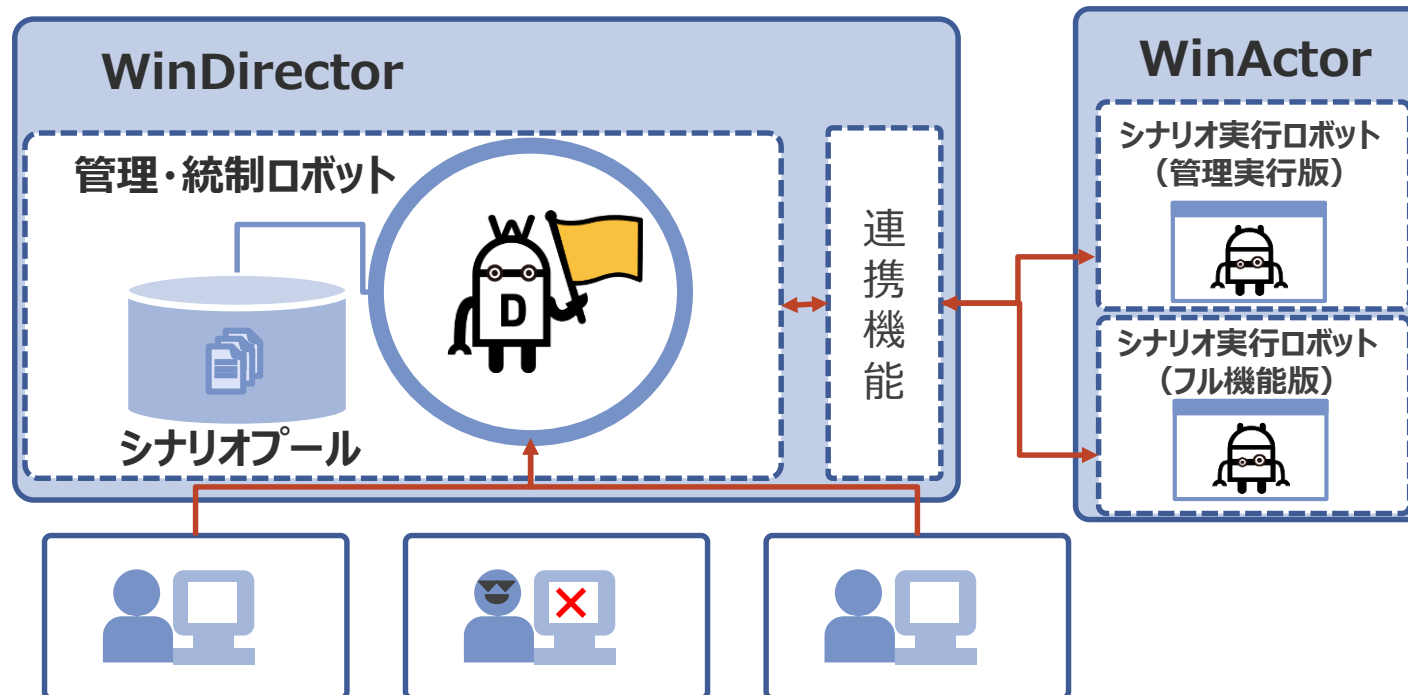
導入前



<ポイント>

- ・シナリオがあればだれでも実行可能
- ・意図しない横展開の可能性

導入後



<ポイント>

- ・権限制御によるシナリオ利用の制限
- ・シナリオのアップロードについて承認機能による意図しないシナリオ利用の防止

□ 導入後

WinDirector

端末管理

<端末管理機能>

端末一覧 ヘッダの矢印を押下するとソートが行えます。

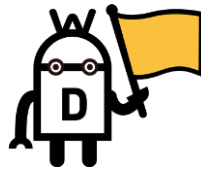
検索結果:29件 ☐ All Check

端末ID	端末名	実行ロボアカウント	実行ロボIPアドレス	フルコンピュータ名	バージョン	ライセンス区分	ライセンス有効期限	実行ロボステータス	実行ロボグループ	check
1	端末1	テスト端末1	10.2.30.41	A000111	5.2.0	評価版	2018/12/31	未起動	グループ1	<input type="checkbox"/>
2	端末2	テスト端末2	10.2.30.42	A000112	5.2.0	製品版	2019/3/31	起動中	グループ2	<input type="checkbox"/>
3	端末3	テスト端末3	10.2.30.43	A000113	5.2.1	評価版	2020/4/30	待機中	グループ3	<input type="checkbox"/>
5	端末5	テスト端末5	10.2.30.45	A000114	5.2.1	製品版	2020/12/31	通信途絶	グループ5	<input type="checkbox"/>
6	端末	テスト端末	127.0.0.1		5.2.1	製品版	2020/12/31	待機中	グループ	<input type="checkbox"/>
7	端末	テスト端末	127.0.0.1		5.2.1	製品版	2020/12/31	待機中	グループ	<input type="checkbox"/>

WinActor
導入端末確認

WinActor
バージョン確認

WinActor
ライセンス状況確認



連携機能

WinActor

WinActor①



WinActor②



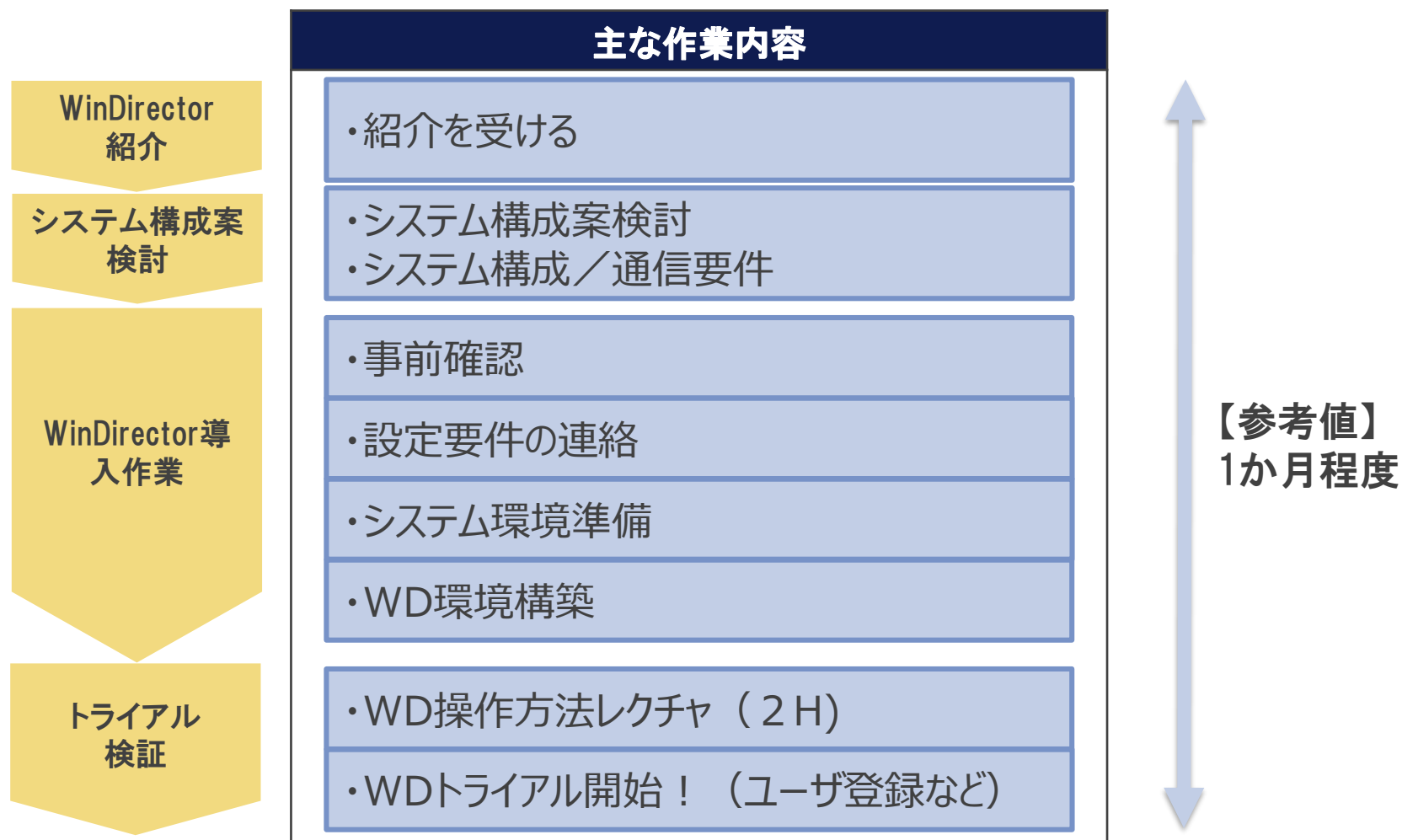
WinActor③



導入までの流れ

「WinDirector®」導入までの流れ

□ WinDirector導入の標準的な流れ



「WinDirector®」導入サポートメニュー

- 「WinDirector」のライセンスをご購入した方の導入支援及び、同製品のトライアルをご希望される方へ、下記の「導入トライアルサポートパック」を有償でご用意しております。

項番	商品名	概要	ご提供価格
1	WinDirector導入/ トライアルサポートパック (WinActorライセンス無し)	<ul style="list-style-type: none">● WinDirector導入時に必要となる作業の支援（50人時）のご提供（事前設計、構築、初期動作確認、研修など）● WinDirectorトライアルライセンス（60日間）のご提供	別途お問合せください
2	WinDirector導入/ トライアルサポートパック (WinActorライセンス無し)	<ul style="list-style-type: none">● 同上● 「WinActor」のトライアルライセンス（60日間）のご提供 WinActorのトライアルライセンスは、クライアント型/サーバー型の選択が可能です。	

※サーバ環境構築に際しての機器調達等は、ユーザー様にて対応いただく必要がございます。

詳細のお問い合わせはこちら！ ⇨ <https://winactor.com/contact/>

最後に

9 / 4(金) に
WinDirector v2.4をリリース予定です！

これらのAPIを使えば、統合運用管理ツール以外の製品でも連携できる機能の幅が広がります。

区分	I/F名	既存/新規	機能
ジョブ管理	【既存改良】シナリオ登録	既存	<input type="checkbox"/> シナリオ実行パスワードを設定できる。 <input type="checkbox"/> シナリオの利用範囲（使用可能企業・組織、myself）を設定できる。 <input type="checkbox"/> シナリオGOTOファイルを使用できる。
	【既存改良】シナリオ実行ステータス取得	既存	<input type="checkbox"/> ジョブを実行した端末情報、実行ロボグループ情報を取得できる。 <input type="checkbox"/> シナリオフロー単位で情報を取得できる。
	ジョブ登録	新規	<input type="checkbox"/> 端末指定、シナリオ参照ファイルを使用したジョブ登録ができる。
	ジョブ一覧	新規	<input type="checkbox"/> ジョブ情報を一覧形式で取得できる。
	ジョブ再実行	新規	<input type="checkbox"/> 異常終了したジョブを再実行できる。
	ジョブ強制終了	新規	<input type="checkbox"/> 実行中のジョブを強制終了できる。
	ジョブ削除	新規	<input type="checkbox"/> 不要なジョブを削除できる。
	端末リセット	新規	<input type="checkbox"/> シナリオ異常で停止している実行ロボを待機状態にリセットすることができる。
構成管理	端末一覧	新規	<input type="checkbox"/> 端末情報を一覧形式で取得できる。
	企業・組織一覧	新規	<input type="checkbox"/> 企業・組織情報を一覧形式で取得できる。
ログ管理	【既存改良】ジョブの実行結果取得	既存	<input type="checkbox"/> シナリオログ、エラーログ・エラーキャプチャを取得できる。
	端末ジョブ実施件数	新規	<input type="checkbox"/> 端末毎に各ステータスのジョブの総件数を取得できる。
	ジョブ結果ログ ※ログファイルの出力。REST-APIではありません。	新規	<input type="checkbox"/> シナリオが終了したタイミングでジョブ情報、シナリオ情報をログに出力することが出来る。 <input type="checkbox"/> ログの出力有無はプロパティ変更画面で変更できる。

統合運用管理ツールの管理だけで、RPAまで含めて一元管理が可能

社内システム全体管理者

統合運用管理ツール

ユーザ・権限の管理

管理・統制

WinActor

シナリオ作成ロボット

シナリオ作成・登録

RPA管理
推進者

シナリオ作成者

WinDirector

シナリオプール

シナリオコメント

外部ソリューション連携
(RestAPI)



管理・統制ロボット

ログ取得

実行の指示

実行結果の確認

シナリオ利用者

WinActor

シナリオ実行ロボット

シナリオ実行ロボット

ERP

WEB

APP

①構成管理

既存のシステムだけでなくWinDirector、WinActorも含め、システム全体を俯瞰した監視ができるため、障害発生時の原因切り分けが容易になり、障害復旧スピードが早まります。

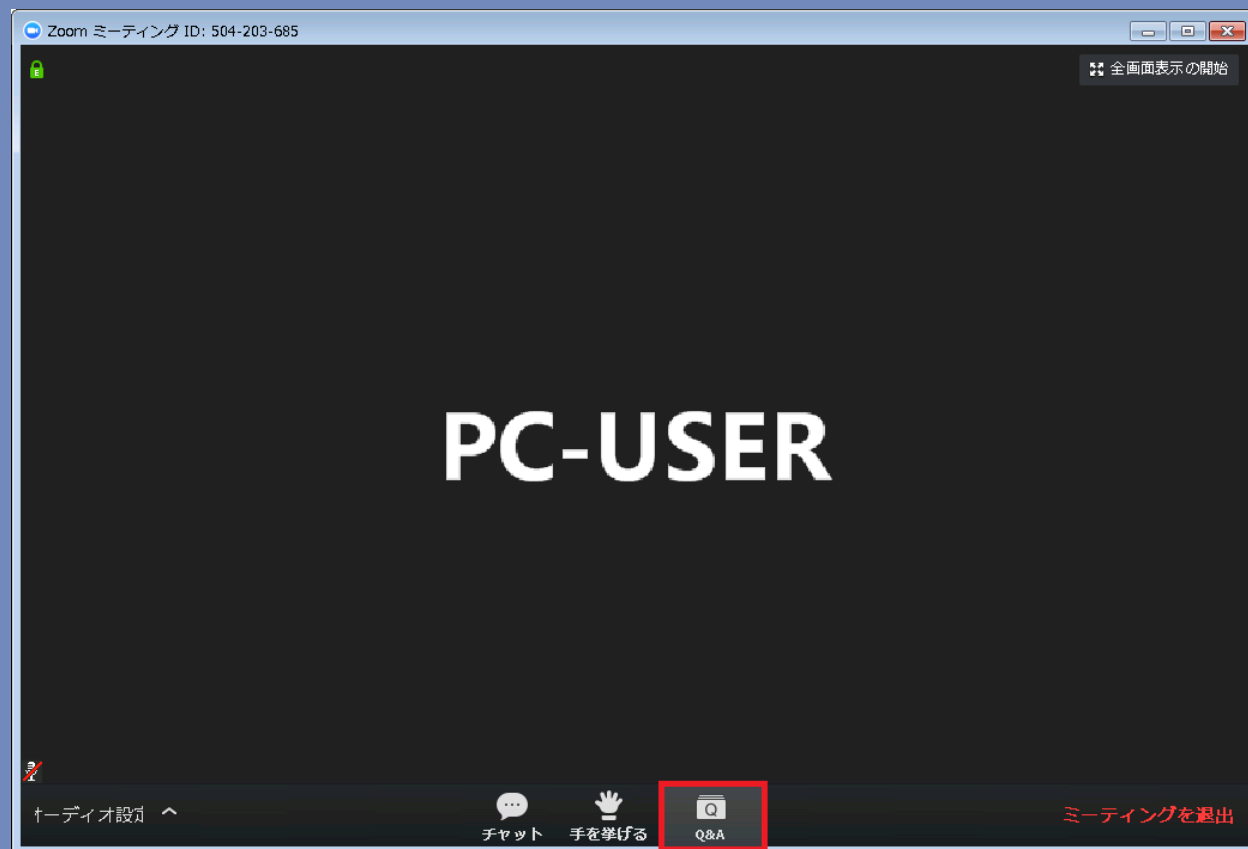
②ログ管理

既存システムと同レベルのエラー情報が瞬時に確認できるようになるため、障害復旧スピードが早まります。

③ジョブ管理

- ・RPAジョブと他システムの実行結果両方を勘案し、ジョブの再実行や強制終了の指示が可能になり、人手を介さずエラー対応が可能になります。
- ・企業独自の柔軟なスケジュール設定ができ可能になります（実行日が休業日と重なる場合自動的に振り替え等）。

Q&Aのお時間です！



A screenshot of a "Q&A" form window. It has a large white text area for input. Below the text area is a red-outlined box containing the text "質問です". At the bottom left is a checkbox labeled "匿名で送信". At the bottom right is a red-outlined box containing the text "送信".



質問を入力



